

**国立大学改革強化推進補助金  
(国立大学経営改革促進事業)  
事業期間を通じた評価に関する調書**

**別添資料**



**指定国立大学法人**



# 教育・研究の組織改革によるインパクト

迅速・全体最適な意思決定を行う  
ガバナンス体制を確立

阪大版プロボスト体制（2名の統括理事）

三つの戦略会議 医歯薬生命系 理工情報系 人文社会科学系

## 教育組織改革

### Student Life-Cycle Support体制

入学前から卒業・修了後に至るまでの学生の様々な活動データを蓄積し、教育改革、学生支援に活用

高大接続から卒業後キャリアパスまで一貫した教育体制の整備

Impact

DXを活用した教育成果の見える化を実現

### 戦略会議の取組：人文学領域での成果

#### 人文学研究科 R4年度に新たな人文学の構築を目指して設置

▶ 主な特色：専攻横断組織「人文学林」  
人文学分野を先導するかつてない取組



学術マトリックスに  
専攻横断的に教員・  
学生を配置

組織の壁を越えた  
シナジー効果！

Impact

領域横断的な柔軟な発想を持った、  
新たな人文学系人材を輩出

## 研究組織改革

### 量子情報・量子生命研究センター

- ▶ 重点3分野として位置付けた量子情報・量子生命分野を発展的改組し、本学免疫学フロンティア研究センターに次ぐ2例目の世界トップレベルの研究拠点として整備
- ▶ 世界最大規模（70名規模）の研究者が本学に結集

Impact

世界トップレベルの研究拠点として  
量子技術の発展に大きく貢献

### 感染症総合教育研究拠点

- ▶ 感染症の脅威から「いのちと暮らし」を守り、社会・経済活動の維持に貢献
- ▶ 3つの研究部門に本学の英知を結集

日本財団より  
230億円の  
支援獲得！

- ◆ 科学情報・公共政策部門  
科学的エビデンスに基づく情報発信、政策提言
- ◆ 感染症・生体防御研究部門  
予防、診断、治療法等の総合的研究
- ◆ 人材育成部門  
感染症対策におけるリーダー人材の育成

Impact

国内外の機関とオープンに連携し  
感染症克服に大きく貢献

# 経営基盤強化のための体制整備

OUエコシステムの基礎が築かれ、持続的かつ自立した経営基盤が整った

## OUエコシステム

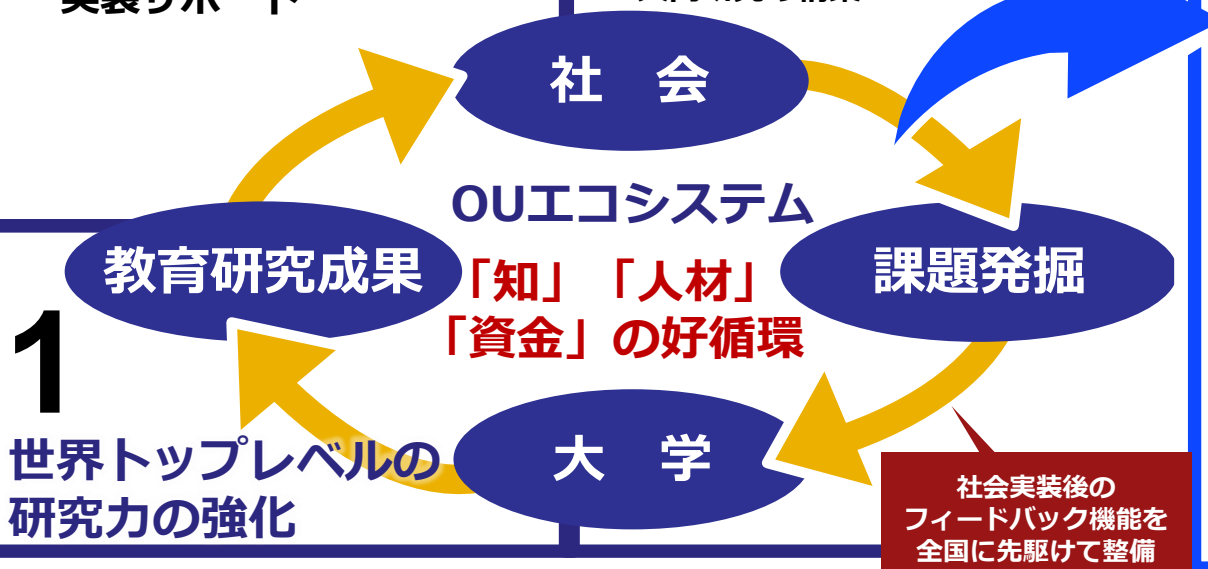
卓抜した教育研究成果を社会実装し、その中から生じる新たな課題を分析し、教育研究現場に還元する好循環を築き、一層大きな社会変革を生む**新たな価値創造のシステム**

## 2 産学共創の取組拡大 社会実装の深化

- 共創機構による社会と大学との組織連携体制の強化
- ELSIセンターによる社会実装サポート

## 3 研究成果の社会実装を通じた新たな社会課題の把握

- 未来社会共創コンソーシアム
  - ▶ 新たな課題の探索を組織的に実施する体制整備
  - ▶ 分野・セクターを超えた共同研究の構築



## 成果の一例

### 量

- **100**を超える企業との共同研究講座・協働研究所

- 共同研究収入 **95.4億** 国内第**2**位

- 知的財産ライセンス **310件**

### 質

- **4,000万円以上**の企業提案型組織間連携 **104件**

- **1,000万円以上**の大型共同研究費受入額 **72.5億** 国内第**1**位

産学共創の深化による  
質・量を伴った力強い成長

# 資金、人的・物的リソースの戦略的配分

強力なガバナンスにより戦略的なリソース配分を行い、多様な成果を創出

## 戦略的な集中投資

### 感染症総合教育研究拠点 (R3.4設置)

資金 日本財団より  
**230億円**の支援を獲得

ヒト **100名**規模の研究者が結集  
▶人文社会科学系を含む **異分野融合の研究体制**を実現し、総合大学の強みを発揮

モノ **拠点新棟整備構想**も始動

### 重点3領域 (生命科学融合フロンティア、共生知能システム、量子情報・量子生命) への積極的投資

資金 **16億円**規模を投入

ヒト **150名**規模の研究体制  
各分野にURA配置

モノ 研究設備の充実を支援

各分野の研究が  
めざましく進展

- ◆大阪大学の世界トップレベル研究拠点  
量子情報・量子生命研究センター 設置
- ◆大型プロジェクトに多数採択 (共創の場形成支援プログラム Q-LEAP 等)

### 筑面新キャンパス開学 (R3.4開学)

資金 **130億円**規模を投入

ヒト **200名**規模の教職員  
による教育・研究体制

モノ 校舎面積**25,000m<sup>2</sup>**のグローバルキャンパス

成果

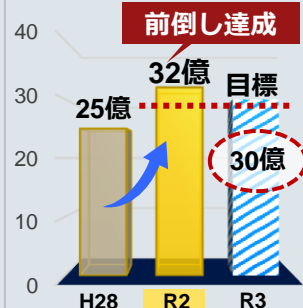
- ◆市との連携、地域社会との共創の深化が実現
- ◆大学初のLEED-ND **GOLD** 認証

## リソース再配分の基盤的仕組み

### 資金 総長裁量経費増額

▶R2年度には**32億円**を確保  
(間接経費を原資に組入れ)

▶総長のリーダーシップの  
下、戦略的に予算再配分



### ヒト 総長裁量ポスト拡充

▶研究力強化・若手研究者支援  
のため、各戦略会議や、重点領域  
等に戦略的に教員ポストを配分

▶第4期中に**100ポスト**の措置を  
予定

(各部局のポストを戦略的に留保して再配分)

### モノ コアファシリティ機能強化

▶**コアファシリティ推進室**の設置  
により、大学全体の研究設備・機器  
共用の仕組みを強化 (R3.10設置)

◆R3年度文科省「コアファシリティ  
構築支援プログラム」に採択